

## 第1回岐阜県生徒指導推進会議 議事要旨

### 1 開催日時・場所

日 時：令和7年6月10日（火）午前10時00分から午後0時05分

場 所：岐阜県庁舎20階 会議室2002

### 2 組織の概要

平成18年に県内で発生した悲しい出来事を二度と起こさないため、子どもと大人の豊かなかわりや子ども同士の思いやりのある温かい人間関係によりいじめの未然防止に努める。

### 3 構成

青少年育成指導者養成関係者 大学関係者 県教育推進会議等代表者  
非行予防・更生関係団体関係者 青少年育成団体関係者 社会教育団体関係者  
福祉関係者 保護者代表者 小・中・義・高・特別支援学校代表者  
社会教育行政関係担当者 人権行政関係担当者・学校教育行政関係担当者 25名

### 4 岐阜県生徒指導推進会議における成果と課題と今年度の推進について

- 「令和6年度岐阜県生徒指導推進会議」「あったかい言葉かけ県民会議」の成果と課題
  - ・リーフレット・動画紹介
  - ・各地区における「生徒指導連携強化委員会」兼「家庭教育推進会議」の報告
- 「令和7年度岐阜県生徒指導推進会議」「あったかい言葉かけ県民運動」について
- 岐阜県におけるいじめの未然防止への取組と内規について
  - ・当課より、各地区委員会の内規の改定理由と内容の提案⇒令和7年6月10日改定の承認。

### 5 意見交換（今年度の推進等について）

- ・以前より規模・内容ともに縮小傾向であるが、着付け等の行儀作法を通じて、日本文化を伝えていくなかで心を伝えている。
- ・本会議後には、県校長会があるため、あったかい言葉かけ県民運動、闇バイト撲滅に向けた標語募集について周知していく。
- ・子どもたちに権利について話をしていくことが大切。人より優れているというものは誰しもある。あることを前提に、権利として大事。思いやりだけではなく、権利として捉えること。
- ・リーフレットは手元に届くものであり、本運動を伝えていく大切な手段。ぜひ、紙でも配布できるようにお願いしたい。
- ・上の年齢の子が下の年齢の子を助ける、思いやる。異年齢のなかで取り組んでいる。昔ながらのやり方であるが今後も体験を通して進めている。地域が好きになって思いやりがもてる子どもが育つよう努力している。
- ・子どもたちの自分ができた、誰かと一緒にやったときのぽろっと出てくる言葉に、周りが「すごいね」と反応していくことが大切。
- ・親の関わりが物理的に難しいのであれば、地域として斜めの関係で関わるのが大切。知っているおじさんおばさんを増やし、バザーなどの企画なども考えられる。
- ・もう一步、子どもの心に届く言葉で伝えるため、大人がコミュニケーション能力を向上させたい。子どもの目線で考えられるように研修をした。子どもたち目線の言葉を使っていきたい。
- ・いじめはダメだとわかっているが、実際に起こっている。道徳教育振興会としては、「1家庭1ボランティア」を展開している。心でつながる活動を今後も展開する。